

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆにこーんみゆうず(保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2026年2月5日		～ 2026年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援と放課後等ディサービスの事業を展開しており、就学しても引き続き利用する児童がほとんどである。そのため、該当児童の情報量が豊富であること。	児童発達支援と放課後等ディサービス事業を展開していることで、ライフステージの変化時にも、切れ目のない支援を展開できるよう意識している。小学校や支援学校への入学時にも、今だけでなく、それまでの成育歴を知っている利点を生かし、訪問先への丁寧な情報提供やきめ細やかな調整役が担えるよう準備している。	子どもや保護者のニーズをしっかりとつかみ、子どもや保護者にとって訪問先施設が安心して活動できる場となるよう、アセスメント力の向上に取り組む。
2	関係機関との連携作りのノウハウはある。	保育所等訪問支援ではない形での保育所や、幼稚園、小学校との連携も大切にしている。相談支援に長く携わり、関係機関との連携においてのスキルを持っている職員がいるので、積極的な連携を図っている。	職員の研修会参加等で学習の場を持ちたり、フィードバックを大切にし、職員全体のスキルの向上に努める。
3	日頃から、関係機関との連携を大切にしている	日頃より、保育所や幼稚園、小学校との連携を大切にし、積極的に行っている。	引き続き必要な連携を大切にし、利用者への支援の質の向上を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問を受け入れていただくための準備に時間がかかった。	受け入れてくださる訪問先に、保育所等訪問事業の周知がなされていないため、訪問されることへの抵抗感が強くあった。そのため、丁寧な説明や、きちんと提示できるだけの準備をしないとイケなかったが、多機能型(児童発達支援・放課後等ディサービス・保育所等訪問支援)の事業所であるからこその他業務もあり、体制準備に時間がかかった。	体制の強化に取り組み、訪問の体制が整った。
2	保育所等訪問を受け入れていただくための準備(ツール作成)	受け入れてくださる訪問先に、訪問されることへの抵抗感が強くあり、「指導されるのではないか」「多忙中、来ていただくのは困難」という声や、訪問日の設定依頼をしても、返答がいただけないことも多数あった。その問題を解消するためのプレゼン資料作りが大変時間がかかった。また、訪問支援に必要な書類の準備にも手間取った。	問題解決のために、東大阪市の機関支援PALに相談したり、PAL主催の交流会に参加して、他事業所の訪問先へのアプローチ方法を参考にさせていただくなどして改善を図った。多方面にアンテナを張り、保育所等訪問支援の書類を含む体制づくりに努め、整った。
3	他事業所の放課後等ディサービスを利用している児童の対応	依頼を受けて何度もケース会議に参加し、保育所等訪問の準備をしていたが、当該児が放課後等ディサービスを長年利用しており、その事業所と学校が他児のケースなどでも関係性ができているため、「保育所等訪問支援」の形ではなく、日常の連携で十分との結果になった。	相談支援事業所、利用者、関係機関としっかりと協議を行ったうえで本来の保育所等訪問支援の意義を丁寧に説明したうえで、利用契約を行うようにする。